

## 令和3年6月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

景況 DI 値は、4 月期までは 3 か月連続で好転し景気回復感があったものの、全国的に緊急事態宣言等が継続される中、5 月期、6 月期と、僅かながらも悪化に転じた。

昨年の同時期に比べ、一部には売上等が回復しているとする声もあるが、飲食や観光・宿泊関連を中心に、多くの業種において一昨年の水準には遠く及ばず、非常に厳しい状況が続いている。

また、木材・木製品製造業、繊維工業、建設業などにおいて、資材価格が上昇するも、価格転嫁が難しいとの報告もある。

一部には廃業した事業者もあり、ワクチン接種が進展し、早期に新型コロナウイルス感染症が収束しなければ、事業の継続が困難になるとの危機感が拡大している。

### 山口県の主要指標 DI 値 (令和3年6月末現在)

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転： 3.8% 悪化： 50.0% DI 値： ▲46.2% ポイント

売上高 ( < 増加 > - < 減少 > = < DI 値 > )

前年同月比は、増加： 11.3% 減少： 43.8% DI 値： ▲32.5% ポイント

収益状況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転： 5.0% 悪化： 46.3% DI 値： ▲41.3% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況) (令和3年6月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲87.5	▲50.0	▲66.7	▲50.0	▲50.0	▲11.1	0.0	▲46.8
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
▲40.0	▲50.0	▲80.0	▲54.5	▲36.4	▲28.6	0.0	▲45.8
							

全体
▲46.2


## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	新型コロナウイルスの影響により、まだまだ厳しい状況が続いている。	調味料製造業
	緊急事態宣言の延長により、土産菓子は依然低調である。県内の持ち帰りスイーツについても外出を控える傾向からこれまでにない売上の減少である。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	飲食関係取引先の売上好転が見られない。	パン・菓子製造業 下関市
	コロナ禍、組合企業全て頑張っており、一日も早い収束を願っている。長門市での職域接種は、ワクチンの手配がつかなくなり中止となり非常に残念である。	水産食料品製造業 長門市
	コロナ禍での業況は、変わらない組合員と季節的に厳しい組合員とに分かれている。数制的な部分はわからないが、秋冬の業況は、新型コロナの状況とワクチンの普及率で変わってくるのではと思われる。	水産食料品製造業 下関市
	令和3年4月までは業況好転に感じられたが、5月は令和2年5月を更に下回る売上であった。6月に入ってから前年に近い受注を肌で感じている。百貨店等では、まだまだイベント性を持った販売促進が不十分である為、積極的な営業活動が滞っている。密を避けるコロナ禍では通常の売上までの復帰は見込めない。	
	6月も、新型コロナウイルスの蔓延に伴い緊急事態宣言が継続されるなど、前年に引き続き各種イベントが中止となった。高齢者向けのコロナワクチン接種が進んでいるが、集団免疫を獲得するためにワクチン不足とならないような、きめ細かな現場向けの対応が必要。またオリンピックへの対応として、検査体制の更なる拡充等必要。ソーシャルディスタンスに基づく経営活動を遂行するための中小企業向けの支援対策を早急に充実させ、コロナウイルスを抑え経済活動の回復を図ることが必要である。飲食店の時短要請などにより、関連食材の売上も激減し、特に山口県の日本酒メーカーの売り上げ減少が酒米の買い控えというところにつながっており、影響が多岐に広がっている。今年も線状降水帯が多数確認されるなど異常気象が続いており、脱炭素社会への急速で積極的な取り組みが必要である。	精穀・製粉業
繊維工業	中国人の技能実習生4名が帰国。現在の技能実習生人員は、中国人15名、ベトナム人29名、合計44名である。新型コロナウイルスの影響で送り出し機関でも実習生の人員確保が難しく、実習先との面接も行われ	下着類製造業

	ない状況。実習生の人数も減少しており派遣収入は減少している。	
	前年と変化はないが、資材の値上げが出てきた。	外衣・シャツ製造業 山口市
木材・木製品	木材（米松等）の高騰品薄により、桧・杉もまた高騰品薄状況となっている。国産材も日割りで価格が上昇する上、注文してもいつ入荷するかは未定である。この状況がいつ改善されるのか、このままでは売るのがなくなり、商売として成り立たない。組合取扱の売上状況は、前年比・前々年比ともに 100%減少している。	製材業・木製品製造業 岩国市
	売上額はコロナ前の前々年同月比で 20%の減少。コロナ禍の前年同月比で 10%の減少。「ウッドショック」と呼ばれる木材不足と価格高騰の状況の中、原材料である地域産の丸太原木は、4月以降、前月比で 10%～15%強の上昇を続けており、仕入原価の高騰に受注対応や在庫の確保に苦慮する状況。工務店との取引価格としては、製材所の全体的な傾向では 10%～20%の価格上昇となっている。しかしながら丸太の高騰を販売価格の連動に即時直結させにくいこともあり、値上げのタイミングや価格設定を検討している製材所も見受けられる。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	緊急事態宣言の解除とワクチン接種の進捗率の上昇により、徐々にではあるが国民の安堵感も感じられるようになった。山口県においてはワクチン接種率が全国で上位であり、行政と各関係機関との連携がうまく機能していると思われる。7月に開幕する東京オリンピックについては賛否両論あるものの、開催されることは確実な状況であり、制限付とはいえ開催することによる印刷業界への効果は計り知れないものであることから、コロナショックで落ち込んだ受注回復の起爆剤となればと期待している。	印刷 下関市
	相変わらず冊子の受注が減っている。雇用調整と有給消化で工場は静かである。	印刷 山口市
窯業・土石製品	出荷量は、 (令和2年6月)骨材 111%、路盤材 77%、再生材 86% ↓ (令和3年6月)骨材 110%、路盤材 100%、再生材 178%	砕石製造業
	出荷量は、前月比 82%、前年同月比 95%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業 山口市
	お墓を建てる（移転を含む）区切りとして、お盆・お彼岸があるが、既にお盆までの仕事がいっぱいとなっている。梅雨入りが早く心配していたが、思った以上	石工品製造業

	<p>に天候に恵まれて仕事が捗っている状況である。</p> <p>6月の売上高は、比較対象の令和2年6月が悪かったので、不変から170%~200%増加という事業所もあった。WEB版萩焼まつりが5月末で終わって、6月のネット販売の動きは鈍くなっている。市内観光客については、平日はかなり少なく、土日には個人客がまばらにみられる。</p>	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	<p>新型コロナウイルスの影響で、外国人技能実習生の面接が出来ず、引き続きリモート面接に変更し対応している。</p>	一般機械器具製造業 岩国市
	<p>6月は例年通り、周南地区コンビナート大型定期補修工事の時期になっており、関係組合員は忙しい企業が多かった模様だが、後半になると、定期補修工事も終わりを迎え、仕事量が少なくなった企業もあった模様。多く人が集まる定修工事期間でも、感染防止対策は「当たり前」となって、感染拡大には繋がらない模様である。</p>	一般機械器具製造業 下松市
	<p>県内の新型コロナウイルス感染者累計は増加しているものの、主要都市の「緊急事態宣言」は、地方では無関係な感覚で受け止められている。中国と取引の組合員は、追加工事の受注が競争入札となったため依然として受注が中断している。大手自動車メーカー関連の組合員は、半導体の入手難が生産に影響しているため、作業が進まない状況。自動車金型関係はここに来て、建設業関係の組合員と同様に受注が困難となっている。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>新型コロナウイルスの企業業績への影響はほぼ無いが、外国人の入国が出来なくなり人手不足から残業が増加するとともに、事業継続に支障が出てきており、入国制限の早期解除が望まれるところである。さらに、外国人技能実習生から特定技能への切り替えにより都市部の企業への転籍が増えてきており、各企業とも人員の確保に苦慮している。なお、帰国困難な人については、特定活動への在留許可の切り替えにより対処しているが、長期にわたる延長を希望しない人達が、人道上の理由から帰国するケースが増えてきている。この様な中途半端な状況が長引くと、モチベーションの維持が難しくトラブルの発生につながる事が懸念される。</p> <p>ワクチン接種の加速に伴い、ゆるやかに好転していく期待が感じられる。</p>	一般機械器具製造業 宇部市

輸送機器	<p>コロナ禍、仕事の停滞感が続いている。社内の感染防止と、本人、家族、取引先等感染した場合の準備や対策等、業務外のことでエネルギーを費やす。早期の、ワクチン接種と新型コロナウイルスの終息を願う。鉄道車両関係の受注は新車両も計画されており、生産予定はあるが世界的なコロナ禍の状況で減少も見込まれる。半導体は当初の予定よりは多少受注が減少していたが、上期後半から下期にかけて最大規模の作業量が見込まれる。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>倉庫売上は前年比で、4月～6月の3ヶ月間連続して減少した。特に外食産業に関わる食品について、新型コロナウイルスの影響が見受けられる。</p>	乾物卸売業
	<p>コロナ禍、家庭内消費の増加で、酒類含む食品関係の売上が伸びている。</p>	
小売業	<p>山口県の化粧品専門店の売上は全体的に前年比同等のようである。暑くなってきたので化粧水・洗顔などがよく動いている。メイク落としの必要性などを説明し勧めている店舗では売上が少し伸びている。大手化粧品メーカーとの共同事業はなかなか売上が上がり、厳しい状況。</p>	化粧品小売業
	<p>令和2年産米の不作に伴い、顧客農家の生産意欲の減退が見られ、機械の購入を控えているように見受けられる。</p>	農業用機械器具小売業
	<p>気温も上がり、エアコン・冷蔵庫が売れた。自店舗での展示会開催により成果の出ている組合員あるが、それでも売上は、コロナ前（令和元年6月）の85%、コロナ禍（令和2年6月）の95%位である。</p>	機械器具小売業
	<p>コロナ禍（令和2年6月）との対比では約101%の売上だが、コロナ前（令和元年6月）では約50%の売上である。「商店街応援キャンペーン」として実施の駐車料金12時間最大500円は、5/31で終了し、コロナ前の24時間最大1000円に戻したが、来街者が少ないため、駐車場売上は、なかなか増加しない。</p>	各種商品小売業 周南市
	<p>6/28時点の店舗売上合計は、対前年同月比+13%で推移。令和2年6月はコロナの影響で特に前半が厳しかったが、令和3年6月については、ほぼ平年並みの数字が確保できそう。ただしコロナの影響はまだ続くので、なかなか先が見通せない状況が続いている。</p>	各種商品小売業 萩市
	<p>6月の前年比供給高95.5%、来店者数95.7%。5月に引き続き下関市の地域振興券のおかげで、前年供給高を超える日が増えてきた。</p>	各種商品小売業 下関市

商店街	<p>オリンピック・パラリンピックの開催が間近になり、ワクチン接種も進んできたが、市況の動向に変化はない。緊急事態宣言が発出されていた広島県では、解除と同時に昼夜を問わず多くの人が出たが、規制の無かった山口県では広島県に隣接する岩国市でも変化無し。むしろ広島へ吸引された状況で、市内の人出はさらに減少した。岩国市が主宰するプレミアム商品券が7月1日から発売になるが、その経済効果への期待は薄い。期待感だけが先行しており、依然として凄まじい不況である。</p>	岩国市
	<p>山口井筒屋跡地の施設「スマイルマーケット（トキスマ）」が空調設備の不調により6月末で閉館になり、再び常盤通りの灯りが消えることとなった。一旦落ち着いた中心地の活力低下が心配される。</p>	宇部市
	<p>数店舗の状況だが、5月は4月より20%売上が落ちたが、6月は5月以上に厳しい状況である。都市部の緊急事態宣言が解除されたが、観光客の流れはない。</p>	萩市
	<p>年金支給日には人通りが多くなるが、それ以外はまだ来客数は減少したままである。ワクチン接種が早く進み、元の商店街に戻ってほしいものである。</p>	下関市
サービス業	<p>梅雨の中休みが多く天気に恵まれ、例年より人出が多いように感じられる。新型コロナウイルスも中旬から下関地域以外は落ち着いてきて、売上は令和2年6月より20%近く増加している。</p>	美容業
	<p>コロナ禍の中、組合員も感染対策を徹底しながら営業をしているが、お客様の自粛ムードが続いている。</p>	理容業
	<p>指定自動車整備工場（民間車検場）は、自社で自動車の検査を行うことができるため、検査機器を備えているが、その機器が老朽化して更新を迎える工場が多くあるものの、更新費用が数百万にも及び断念するケースが見られ、補助金等の相談を受けた。機器更新の補助金は、現在のところないが税制の控除を受けるための「経営力向上計画」の認定について紹介したところ、2件の申請があり中国運輸局長に認定された。現時点でどの程度の控除を受けられるかは当組合では把握できないが、今後も会員組合員への支援を続ける。</p>	自動車整備業
	<p>新型コロナウイルスで大変な状況。緊急事態宣言が解除され、人の動きが少しずつ出始めた。</p>	スポーツ・健康教授業
	<p>売上が前年比を上回った組合員もあるが、新型コロナウイルスの影響を大きく受けている旅館やホテルなどの大口の取引先をもつ組合員は、取引先の倒産等で大きなダメージを負っている。業界全体では、コロナ禍の生活スタイルの変化（仕事のリモート化、ネットショッピングの比率の増加、冠婚葬祭の少人数化等）による</p>	普通洗濯業

	クリーニング需要は、このまま変わらないという見方をするとところもある。下げ止まったが、ここから上がる様子も見られない。	
	高齢者のワクチン接種が進んだが、飲みに出られる世代のワクチン接種が進むまでは、まだまだ厳しい状況が続くと感じている。	飲食業
	大口販売の組合員1社がJR発券機を導入したため、組合を通じたJR発券がなくなり売上が半減した。売上は、令和元年6月の8%、令和2年6月の45%。	旅行業
	前年6月と比べ、売上141.5%、宿泊人員167.2%となったが、新型コロナウイルス感染の影響のなかった前々年5月と比べると、売上55.5%、宿泊人員56.4%と非常に厳しい状況が続いている。旅館組合としては、コロナ禍の令和2年との比較はナンセンスである。	旅館業 山口市
	令和2年はコロナ感染症により激減した。令和3年6月は、施設の機械が故障、老朽化により休業となり、さらに悪化し、回復は7月中旬の予定である。令和2年は補助金等もあり支払いができたが、この6月は厳しい状態となった。	旅館業 下関市
建設業	中電への工事申請115件（当支部107件）、前年同月111件（同91件）。太陽光発電への申請31件（前年15件）、オール電化申請59件（前年65件）。LED街路灯への切り替え・新設申請8件（前年25件）であった。	電気工事業
	半年以上に亘り工事量の少ない状態が続いているが、更に半年この状態が予想される。広島と同業者もだが、若者の退職が増えているように感じる。	左官業
	新型コロナウイルス関連の影響はほとんどない。入札件数が少なく不安に思っていたが、例年並みの発注があり一安心である。急に忙しくなった。	管工事業
	当組合で契約業務をサポートしている県の事業件数から判断すれば、新年度の発注が例年より遅いように思える。最近の為替レートは円安傾向で推移していることと、原油の先物取引が影響してか、ガソリン単価(150円)が上昇している。天候不順により葉物野菜が値上がりしている。山口県のワクチン接種率は、全国トップクラスで進行している一方で、非常事態宣言が隣接の広島・福岡両県に発令されていたため、山口県でも自粛の呼びかけが、主要道の案内掲示板に告知されていた。コロナ禍の閉塞感が何時頃に払拭されるものか、巷間の話題は沈鬱である。	土木工事業 柳井市
	6月の受注高は、対前年同月比1.6%。今年度の累計では、対前年比81.1%。	土木工事業 萩市

	土木工事の受注状況は、僅かだが前年を上回っている。	土木工事業 長門市
	副資材の値上げが始まってきたが、なかなか販売価格に転嫁できないのが現状である。大手ハウスメーカーの工事量が少しずつ減少に転じ、代わりに全国ネットのチェーン店やフランチャイズ店が進出してきた。これらの仕事は安値競争に巻き込まれることは必至であり、余り歓迎できない。	瓦工事業
	5月に比べて若干見積が増えてきたが、大型物件・官庁工事が少ないため仕事量の確保が難しい。同業者の手伝いで工場稼働率を維持している状態。	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	輸送関係は相変わらず底辺に近い現状である。国内向けの荷動きは0.8%の減少、輸出は横ばいだが、0.5%減少。燃料は0.9円の値上げ。月毎の値上げは中小零細輸送業者にとっては大きなマイナスである。	一般貨物自動車運送業 下松市
	組合の輸送取扱高については前年比30%程度増加の見通し。前年比では増加だが、前月同様、前年は部品供給の停滞等により例年の50%以下の状況にあった。自動車関連については、依然、芳しくない。	一般貨物自動車運送業 防府市
	運送について、荷動はかなり上昇傾向にある。特に、中国やアメリカ等、海外向けの生産物・化学製品等がかなり回復してきているようである。輸送、生産請負等若干の人員不足が続いており、人員確保が取り急ぎの課題である。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比+14.0%（令和3年5月1日～令和3年6月20日分）だった。5月1日～31日分は+42.8%、6月1日～20日分は▲14.5%。前年度分がコロナで大幅に落ち込んだため（特に前年5月分は▲69.0%）、前々年度比では、それぞれ▲57.3%、▲55.7%、▲59.7%になった。（半分以下の状態）。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。5月分については、周南+43.0%、下松▲5.3%、光+37.6%、防府市地区が+35.0%で、組合員の全域では+34.5%、地区外（員外）+559.3%、合計+42.82%（+2,613千円）だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが下がり（前月502.5\$/トンが今月500.0\$/トン、前年335.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油が上がり（前月528.0\$/トンが今月561.0\$/トン、前年270.0\$/トン）。為替は円高（前月110.14円/\$が110.20円/\$）。燃料単価は前月と同額となったが、前年6月が低かった事もあり、前年比+16.4%となり、収入が落ちている中たいへん厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が	一般旅客自動車運送業

	<p>厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しているが、需要が落ちているため、採用側も慎重になっており、車両の稼働率は低下する一方である。昨年の4月が極端に減少したため、少し回復したように見えたが、前々年度比では▲57.3%の状態、6月はその同月比も割る状況。5月末日で、防府市内の組合員（老舗タクシー会社）1社が廃業した。ワクチン接種が進み、早く経済が回復しないと、事業そのものが不能となり、回復がますます困難になると危惧される。</p>	
	<p>前年同月は特に取扱高が低かったため、前年7月からの新規取扱い貨物を除いても、対前年比25%程度の増加と、数字の上ではなかった。</p>	<p>港湾運送業 小野田市</p>
<p>その他</p>	<p>引き続きコロナ禍の影響により入国待ちの状況が続いている。先月までは、入国の延長はやむを得ないが7月～8月には入国できるのではと予想していた。しかし現実には今年中の入国も難しい状況へと向かっている。顧客からの入国に関する問い合わせは多いが、都度状況を説明しご理解頂いており、契約の取り消し等は全く発生していない。</p>	<p>介護事業</p>